

営農ウィークリーNEWS

グランフロント大阪

無印良品イベントスペースにて
地域特産物PRイベントに
参加しました



7月7日、グランフロント大阪にある無印良品 open muji スペースで開かれたイベントに参加しました。

このイベントは、京都の旬の野菜と情報誌がセットになった会員制の通販「京都食べる通信」やホテルカンラ 京都、アンテルーム京都を運営するUDS株式会社が企画したものです。

7月の旬の食材通販企画が、当JA向島支店管内の特殊な栽培法で知られる樽栽培「トマト」と大山崎支店管内の京のブランド産品「京山科なす」がセットになります。

この企画のPRと地域特産物の魅力を紹介する目的で開かれました。

当日は、無印良品のウェブサイトからの公募による参加者希望 26 人が参加しました。

イベントでは、1時間の2講演制で「野菜のプロに学ぶ美味しいトマトの見分け方と今話題のトマト」と題して、当JA営農販売課の荒木俊光技術顧問が講演しました。



産地別のトマトの食べ比べも行われました。



—TAC information—

長岡京花菜部会総会開催



2019年7月9日(火)長岡京花菜部会 第31回総会が開催されました。

同部会は、JA京都中央合併前の旧JA長岡京市からつづく伝統ある部会です。京都市場に出荷される京都府産花菜の約40%を当部会が占めており、府内最大級の産地です。

新部会長に就任された岡本博氏は「2019年度も、安心安全な花菜を消費者の皆様にお届けできるよう、生産者一同頑張りたい。」と、話されました。



淀地域夏の収穫祭が開催されました！

7月9日、淀支店駐車場において、「2019淀地域夏の収穫祭」が開催されました。この収穫祭は、淀地域で栽培された農産物を、一般消費者に知ってもらい、農業への理解を深めると共に、地域貢献活動を目的として開催されています。

オープニングセレモニーとして、淀支店女性部による大正琴の演奏が行われました。収穫祭では、九条ねぎをはじめ、ナスやトマト、ピーマンなど安価で販売され、新鮮な農産物を求める来場者で賑わいました。

